

授業概要

本講義は、臨床心理士やカウンセラー、公認心理師など、心理専門職者が行う心理的サービスとはどのようなものであるかについて理解することを目標に講義する。具体的には、心理専門職者の役割と義務、職業倫理、サービス受領者の安心安全の確保、インフォームド・コンセントなどの他、専門家として求められる基本的資質や態度についても関係資料の解説や討論などを行いながら、医療、福祉、教育、産業、司法等の各領域における心理専門職者の心理支援のあり方および課題について、体験談も含めて講義を行う。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション・国家資格としての公認心理師の役割・臨床心理士の役割
第 2 回	生涯における悩みごと・困りごとの対応：その全体像
第 3 回	公認心理師・臨床心理士になるためにどうしたらいいのか1—心理系の資格の全体像を知る—
第 4 回	公認心理師・臨床心理士になるためにどうしたらいいのか2—学習内容の全体像を知る
第 5 回	心理専門職になるためにはどうしたらいいのか1—仕事の内容—
第 6 回	心理専門職になるにはどうしたらいいか2—仕事に就くために—
第 7 回	心理専門職を知る1：医療・リハビリ系
第 8 回	心理専門職を知る2：医療・心理相談
第 9 回	心理専門職を知る3：教育・スクールカウンセラー（小学校）
第 10 回	心理専門職を知る4：教育・スクールカウンセラー（中学・高校）
第 11 回	心理専門職を知る5：教育・学生相談（大学）
第 12 回	心理専門職を知る6：福祉・産業労働
第 13 回	心理専門職を知る7：医療・教育・臨床心理センター
第 14 回	心理専門職における多職種連携
第 15 回	心理専門職における倫理
第 16 回	最終課題レポート

到達目標

1. 臨床心理士や国家資格心理専門職（公認心理師）の成り立ちを理解し、その社会的役割を自覚できる。
2. 臨床心理士や公認心理師などの心理職の行う業務と活動の実際を理解し、説明できる。
3. 授業を通して、人々の福祉のために活躍・貢献するという高い意識を醸成する。

履修上の注意

1. 本講義は公認心理師を目指す場合の必須科目であることを十分理解した上で履修すること。
2. 事例等を活用した倫理問題なども扱うので、受講者にはしっかりとしたプライバシー保護の意識をもって受講することを期待する。

予習・復習

授業に際しては、予習のために事前に講義資料等を配布するので、それを学習した上で授業に臨むことを期待する。

評価方法

リアクションペーパーの内容（20%）、授業中の態度（20%）、最終課題レポート（60%）の結果を合わせて、総合的に評価する。

テキスト

授業では、各トピックに沿った資料を配付する予定である。参考者については、授業内で、適宜紹介する。